

図書館利用者懇談会 ～利用者からの意見等への回答(概要)

| | | | |
|---|--|--|--|
| <p>【対応状況・凡例】</p> <p>◎ すでに対応している項目</p> <p>○ 早急に対応を行う項目</p> <p>□ 施策・事業を実施していく中で取り組むまたは検討する項目</p> <p>ー 対応が困難な項目</p> | | | |
|---|--|--|--|

| 番号 | 利用者からの意見・要望の概要 | 図書館の考え方 | 対応状況 |
|----|---|---|------|
| 1 | 利用者懇談会の開催は、土日開催を考えた方が参加人数が増えて良いのではないか。 | これまでは、開催する曜日によって参加人数に大きな違いはありませんでした。今後、参加状況によっては改めて土・日の開催も検討していきます。 | ◎ |
| 2 | 図書の予約件数を15件から20件に増やすことはできないのか。 | 予約件数については多くのご要望をいただいておりますが、予約数を増やすと、待つ時間も増えてしまうため、貸出数と予約数は同一件数としています。 | ー |
| 3 | タブレットやスマホの普及により、安全な使い方や危険性を教えられるか不安がある。図書館で読み聞かせの重要性や情報リテラシー、ネットの危険性を学べる講座を企画してほしい。 | 「これからの図書館構想」の施策の中で「情報リテラシーの普及」として図書館では様々な取組を行っています。指定管理者館を含め、関連する事業や講座を引き続き企画していきます。 | ー |
| 4 | 指定管理による運営は、以前の直営よりも良いと思う。しかし、継続性や専門性、サービスの質の低下などの懸念があり、しっかりとお任せするようにすべきではないか。 | モニタリングにより、指定管理による運営の図書館の指導・監督を行い、定期的な評価結果は区のホームページに掲載しています。指定管理の良さを活かした運営に努めていきます。 | ◎ |
| 5 | 既存本について、一定の専門性のある書籍を系統的に収集しているか。 | 図書を分担する部門ごとに、各館で専門書もある程度所蔵しています。練馬区立図書館収集方針に則り、基本的・入門的なものを中心に幅広く収集しています。要望や関心の高い分野のものについては専門性の高いものも収集する場合があります。 | ◎ |

| | | | |
|---|--|---|---|
| 6 | <p>学校との連携の中で、図書館に来て、図書に触れる楽しみを実感できる取組ができるとよいのでは。</p> | <p>休館日を活用した学校との連携として、光が丘図書館では小学校低学年を対象に「としょかんたんけんたい」を実施したり、南大泉図書館では石神井特別支援学校の生徒さんの受け入れを行っています。また図書館だよりの配布や団体貸出、読み聞かせ等も行っています。</p> | ◎ |
| 7 | <p>貫井図書館の解体工事の着工が見送られたが、今後の見通しはどうなっているか。進んでいた実施設計はどうなるのか。</p> | <p>美術館・貫井図書館の再整備は、現在の建設市場の動向を鑑みて、解体工事と本体工事を見送りました。引き続き、建設市場の動向を注視しながら、適切に判断します。また、実施設計の内容については、別途、公表予定です。</p> | □ |
| 8 | <p>限られた予算で蔵書を増やすには、予約が集中する本を安易に増やすのではなく、長期的な利用や書店との関係にも配慮していく必要があるのでは。</p> | <p>書店商業組合とは、今年度から図書の購入だけでなく、共催で講演会を実施するなど事業連携を行っています。今後も地域の読書文化の推進に向け、協力して事業を実施していきます。</p> | ◎ |
| 9 | <p>図書館でいろいろな事業をやっているが、参加人数が少なく、各図書館で他の図書館や学校への周知がされているのか疑問である。</p> | <p>各図書館へポスターやチラシを送ったり、所管エリアの公共施設、学校へも周知を行っているところです。今後も様々な工夫を行い、参加者が増えるように努めます。</p> | ◎ |